

わたしの 妊娠報告書

記載日 令和元年 6月 1日

おめでた宣言日	平成 30 年 9 月
年齢 (38) 歳	平成 (24) 年 (6) 月 結婚
私は (体外受精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(3) 年 (2) ヶ月
他院での治療歴	<input checked="" type="checkbox"/> なし あり→内容 ()
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 (4) 回 ?	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 (5) 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 () 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精 (1) 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精 (1) 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

前向きな気持ちでいることを心がけていました。

自分が妊娠に至るまでの間、友人のおめでた話を心から祝うことができない時もありました。そんな時は自分が気楽に過ごせる家族や友人と会うようにしたり、楽しめる息抜きを大切にしていました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

最初は不妊治療なんて“ひとごと”とっていて、さほど積極的ではありませんでした。通院をはじめてみて、授からない原因が明確に分からないことが悩みでした。タイミング法を試した後一年近く通院をお休みしていました。

子どもを作るためだけの性交になりがちなのが、つらかったです。

その他（通院・治療費・家族など）

仕事のシフトを変更してもらったり、デリケートな事なので根ほり葉ほり聞いてこなかった職場には感謝しています。

通院するに、多額な費用がかかることを含め、話し合い協力してくれた主人や家族にも感謝しています。人工授精、体外授精共に果、市の助成を受けました。

治療中の方へのアドバイス

私が治療に積極的になれたのは、年上の友人のアドバイスのおかげでした。彼女は二人目の妊娠が想像うまいくならず、結果年齢や身体への負担を理由にあきらめた経験がありました。「もう間に合わない年齢になった時に後悔しない選択を」と言って背中を押してくれました。

スタッフへのご意見など

不安なことや分からないことを丁寧に教えていただき、通院するに苦痛にならないように対応して下さいました。ありがとうございます。途中から導入されたアプリでの予約は待ち時間の軽減になりました。